

台湾の安全保障 —伝統的・非伝統的脅威への対処—

日本や欧米各国では、いわゆる「台湾有事」の議論がなされています。しかし、その多くは「台湾不在の台湾有事論」という批判を浴びています。一方、台湾では安全保障上一体何が問題であり、どのような議論がなされ、アメリカが台湾をどのように支援しているのか等、外から見えにくいことも事実です。

また、実際の所、台湾は中国からの認知戦に日常的にさらされていると言われていています。中国の影響は、これまで経済的な依存や、社会への浸透工作などが指摘されてきました。しかし、極めて似通った言語・文化的背景を持つ中国が、台湾のネット社会においてどのような影響を及ぼしているのか、その問題がどれほど深刻になりつつあるのか、台湾以外の社会ではまだよく知られていませんし、台湾内部でもこの事実から目を背ける人々がいます。

2024年の総統・立法委員選挙の過程においても、これまでと同様に、台湾の安全保障をめぐり、さまざまな動きがありました。親中／反中の二元論や、戦争か平和かといった単純な報道もありました。安全保障論は脅威認識や脅威主体との関係のみならず、自国社会の亀裂や弱点などを理解した上で総合的に展開する必要があります。

本シンポジウムでは、台湾の安全保障に関して、最先端の研究を進めている林正義先生と洪子偉先生をお招きして、単なる軍事バランスや有事の際の対応といった議論ではなく、台湾という当事者に寄り添った形で、台湾の安全保障論の再構築を試みたいと考えています。

2024年 **5月25日【土】** 13:00-15:40

12:30	開場	
13:00~13:10	司会挨拶	黄偉修（東京大学）
	企画説明	松田康博（東京大学）
13:10~13:50	第1報告	林正義（中央研究院欧米研究所）
13:50~14:30	第2報告	洪子偉（中央研究院欧米研究所）
14:30~14:45	第1コメント	松田康博（東京大学）
14:45~15:00	第2コメント	福田円（法政大学）
15:00~15:40	総合討議、司会の総括発言	

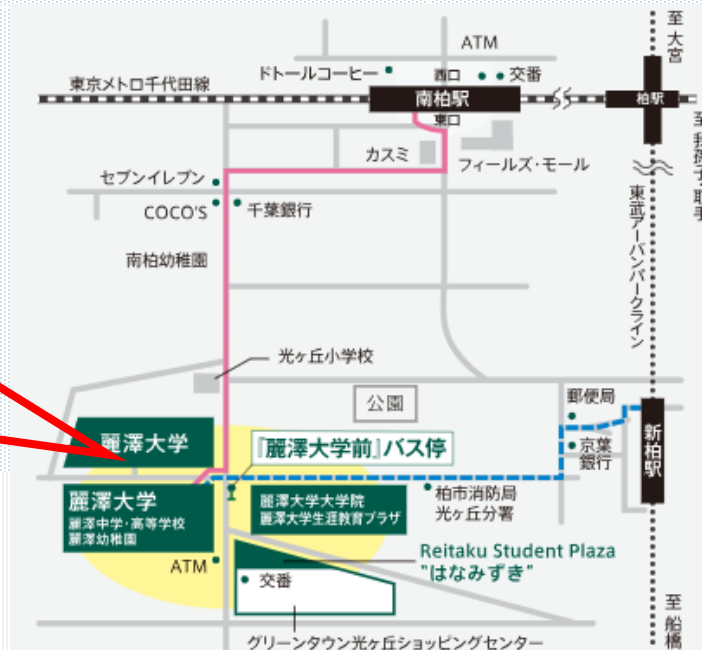
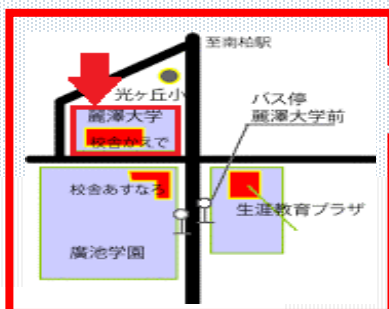
方式： 対面+オンライン Cisco Webex オンライン会議

使用言語： 日本語・中国語（同時通訳あり）

備考： 参加費無料、会員以外の方も参加できます。会員以外の方は、[Peatix \(https://jats26-symposium.peatix.com/\)](https://jats26-symposium.peatix.com/)にて事前登録をお願いします。後日同時通訳の利用案内、キャンパス案内、報告論文（和訳）を配信する予定です。同時通訳はご自分のスマホ、タブレット、PCなどにアプリをダウンロードしてください。なお、Free Wi-Fiの提供がありませんので、ご了承ください。



会場： 麗澤大学かえで校舎 6階 1603教室
対面+オンライン
〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
—常磐線（東京メトロ千代田線直通）
「南柏」駅東口より東武バス（1番乗り場）
に乗車で約4分。「麗澤大学前」下車。
—東武アーバンパークライン「新柏駅」
から徒歩約15分



主催：日本台湾学会
共催：麗澤大学
助成：公益財団法人日本台湾交流協会
後援：台北駐日経済文化代表処